

徳島の社会教育

一躍らにゃ「ソソソソ」が意味するものと自己決定活動への影響一

2003/06/28 日本社会教育学会中国・四国地区社会教育研究集会

徳島大学大学開放実践センター 西村美東士

1 徳島県の社会教育施設の現状

徳島の社会教育一躍らにゃ「ソソソソ」が意味するものと自己決定活動への影響
H15.6.28/日本社会教育学会
中国四国大会

徳島の人口

県市区町村名	人 口	世 帯 数
全 国	126,925,843	47,062,743
徳島県	824,108	288,808
徳島比率	0.65%	0.61%

平成 12 年国勢調査確定人口及び世帯数（徳島県）平成 13 年 9 月 28 日官報告示

平成 12 年国勢調査確定人口及び世帯数（全 国）平成 13 年 10 月 31 日官報告示

公民館・図書館及び施設等 全国平均との比較（平成 11 年）

公 民 館			図 書 館	博 物 館 等
中央館	地区館	分 館		
37	138			
本館計	175	116	28	8
	1.53%	1.70%	1.08%	0.77%
1 人当り比	2.36	2.61	1.66	1.18
1 世帯当り比	2.50	2.76	1.76	1.25

社会教育施設数 他県との比較

	公民館	図書館	博物館	青少年教育施設	勤労青少年・婦人福祉施設
	1999 年	1999 年	1999 年	1999 年	2000 年
全国	18,257	2,593	1,045	1,263	2,483
東京都	92	352	94	59	8
大阪府	284	126	27	101	46
鳥取県	209	17	6	12	33
島根県	350	29	13	12	46
岡山県	440	42	31	15	49
広島県	484	51	26	28	47
山口県	273	48	19	30	67
徳島県	291	28	7	9	28
香川県	225	23	7	10	50
愛媛県	462	28	13	18	27
高知県	222	29	10	11	16

2 自己決定活動のための恵まれた条件（徳島市内）

吉野川、水際公園、大神子海岸、商店街の早閉まり

3 自己決定活動の阻害要因

徳島学遊塾運動の課題

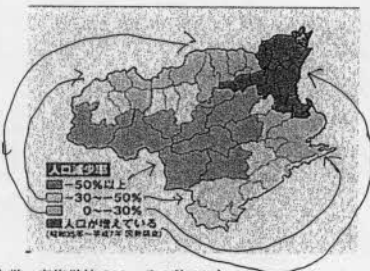
参考 自著「不幸の手紙からの脱却の方法

ーネットワーク型活動への転換を」

（徳島2年目の時の執筆。現在は再考中）

阿波踊りによるガス抜き（①踊りだけでは町おこし
はできない。②開示→受容のプロセスがない。）

過疎という阻害要因



4 徳島県民カレッジの課題

連携講座の状況（講座数 県 248、市町村 68、大学・専修学校 216、その他 160）

社会教育の市町村中心主義と、生涯学習の広域性及び個人性

5 地方都市における公民館運営体制のあり方

参考 徳島市社会教育の職員構成等

①コミュニティセンターとの両立

②非常勤活用による全館への館長・職員配置

③教職経験者活用による専門性の確保（学習内容に惚れ込んでいる、社会教育の意義を理解している）
ただし、西日本の図書館整備の遅れをどう見るか。

6 【トピックス】パチンコ問題

自著「日本産業教育学会第43回大会 2002年10月27日ラウンドテーブル『最近の若者の労働観と生き方を考える』報告」、『産業教育学研究』2003年1月より

「個人がやりたいこと」を重視する3人の登壇者が奇しくも一致したキーワードに「パチンコ」（への否定的反応）がある。徳島のような地方都市に働く多くの人々にとって、パチンコは主要な娯楽場である。市内には大規模なパチンコ屋が数多く建っている。しかし、彼らの口ぶりからは「勤めとパチンコに明け暮れる地方都市の日常」への反発を感じさせられた。

未調査 一人当たりパチンコ台数・パチンコ屋平米数の比較

7 徳島県民の気質

貧富の差から屈折していて「へらこい」（県南はまるい性格） 祖父江孝男『県民性の人間学』

強い近畿志向（大阪府に一番親しみを感じる）、伝統的な生活志向、現状や体制に順応的、教育（学歴）重視、行事や祭りに参加したい NHK全国県民意識調査『現代の県民気質』1997

8 所得水準の低い地方の課題

低所得、地域嫌い、大都市志向（自己決定活動では「よそ者」が活躍）

学習活動における非主体的側面＝「教育の（制度的）権威」に対する同意要請型の質問
女性社長率1位とDVの頻発

阿南市 NPO 自然スクール TOEC という好事例の意味するもの

「いきいきときどき徳島学遊塾運動」は、まち全体を学び舎として、市民のだれもが学ぶことができ、教えることのできる「共育システム」である。そして、その主体はつねに市民であり、市民自らの発想と実践によって運営されることが基本とされる。学遊塾推進本部や企画、広報等を担当する各専門部会は、公募による市民ボランティアが活動の中心となる。

もちろん、これに対して、徳島市（事務局は社会教育課）はできる限りの支援をしようとしている。しかし、だからこそ、そこで問われるのは市民参画の実体であり、官民パートナーシップの成熟度である。

ぼくは徳島大学に赴任して以来、2年間、本運動のアドバイザーをやらせてもらっている。これは、ぼく自身にとってもボランティアな活動である。まだまだ「実体」としての本運動を把握しているとはいえない状態だが、ぼくなりによいまの学遊塾が突き当たっている究極の問題点として感じている点を述べてみたい。

それは、参加・参画する市民の側にややもすると「不幸の手紙」と似た心理的状況が垣間見られ、そのことが市民参画や官民パートナーシップの阻害要因になっているのではないかということである。「不幸の手紙」とは、同じ内容の手紙をつぎの人に回さないと不幸になるというもので、チェーンレターの一種である。市民の自己決定活動の一環であるはずの生涯学習なのだが、とくにそういう活動のなかで役員などをやっている人は「なんで自分ばかりこんな苦勞をしなければならないのだろう」という非生産的な気持ちにさいなまれることがあるのだ。これをそのままほかの人に訴えて協力を得ようとしても、相手だっていやな苦勞はしたくないわけで、進んで協力しようという気持ちになれないため、「不幸の手紙」をもらったときのようないやな気持ちになるだけの非生産的な結果しか残らない。

もちろん、行政側にもこのような運動への対処の未成熟な部分も残っていて、それも阻害要因のひとつにはなっていると思うが、市民の側に行政とのパートナーシップ能力が培われれば、それは市民の力で次第に解消されよう。

共育と楽習は、ある意味で「わがまま」（わが思いのあるがまま）に積極的に関与する行為であり、しかもそれは「自分のため」の行為であるといえよう。だが、徳島の人たちの「控え目さ」ゆえにか、そういうとらえ方ができずにいる面がありそうだ。これはこれで徳島の人たちの味わい深さを表しているのかもしれない。げんに阿波踊りのときなどは身も心も大いに解放し、ハレの日を十分味わうことができる。ぼくも3日間踊りっぱなしであったが、とくに学遊塾の連で踊ったときは、超ベテランの三味線（これもボランティア）のメロディーというぜいたくな条件のもとで、下手も上手もごく当たり前にいっしょになり、地元の路地や、いつものなじみの盛り場や商店街を踊り歩くことができて、一番楽しかった。

しかし、日常の日々における「控え目さ」のほうは、それが何かの拍子に潜行するようなことがあると、先述の「不幸の手紙」のような非生産的状況に陥ることにもなる。「これだけ自分はやってきたのに、ほかの人がやってくれないのはおかしい」、「行政はこういう私たちにこそもっと面倒を見てほしい」というわけである。ややもするとそういう気持ちになることは無理もないこととは思いますが、これが市民の自己決定活動という本質を歪ませ、市民参画や官民パートナーシップを難しいものにしてしまう。

ぼくは去年の2月に本運動の市民教授研修会において「さて困った、大人への教え方」というワークショップを行い、引き続き推進委員研修会で討論と懇談会をさせてもらった。

「よそでたまったストレスを学遊塾で発散している」という元気な意見もあったが、「役員をやっ

いるとストレスがたまることが多い」という訴えもあった。その理由は、まわりの人が協力してくれない、あるいはちゃんと理解してくれていない、会議でなかなか全体の意見がまとまらない、などである。高齢のため体がついていけないという人もいた。市民教授登録者からは、他県の例と同じく、講師として呼びがかからないという問題が大きかった。

一方、環境問題に関する活動をやっている人からは「活動を、自分の生きてきた証しだと感じている」、民謡の人からは「徳島の宝を伝えるお世話をしたい」などの意見もあった。このような「使命感としての生涯学習」という側面も忘れてはなるまい。しかし、それにしても学遊塾運動が本質的に市民の自己決定活動であり続けるためには、「不幸の手紙状況」からはなんとしても脱却し、「使命感」にしても「潔い使命感」が求められているといえよう。

そのときほくは次のようにコメントした。

1 教授法の実際の様子がわかる「市民教授リスト」

市民教授のさらなる活用といっても、あまり関心がわかない人に講師を依頼するということがあるとしたら、それ自身が生涯学習活動としては好ましくない。ただの無機質なリストではなく、もっとその人の顔がわかり、メッセージや雰囲気伝わり、どんな教え方をしてくれるのか、プログラムまでわかるリストが必要である。また、今後ますます重要になる学校教育への協力については、専門の分野についてだけでなく、教育についての見識をもち、学校側にもそれが伝わるリストにすべきである。

2 活躍場所の自己開発

町内会、婦人会など地域はだれもが主人公になれる場である。また、市民教授同士でチームを組み、市側にいくつかの会場を提供してもらって、自分たちでキャラバン隊のように各地域に教えてまわるといことも考えられる。

3 自己決定活動はグループ活動

ボランティアな活動は、実際にはそのほとんどがグループ活動として行われるものではないか。そういう意味では、まずは市民教授や役員同士が日常的に教えあったり学びあったりすることが楽しいと思う。

4 自分のための活動

いったん役員を引き受けたのなら責任を持って会合にも出席すべき、という感覚はそれが自分自身に向かっている限りは敬意に値すると思う。しかし、責任感以上に、そこに行けば歓迎される、だから仲間と会いたい、役員自身が学べる、おしゃべりできる、だから会合は楽しい、といういわば「自分のため」という感覚こそが大切なのではないか。欠席した人に「もっと責任をもって出席して」ではなく、「この前は来れなくて残念だったね」といえるような活動を目指したい。役員の会合であっても、学遊塾運動が自己決定活動の一環である限りはそういう活動にすることが大切である。

5 ネットワーク型の運営

大人はそれぞれの事情をもって生きているのだから、会合にたまたま参加できた人でそのときの合意を作り出せばよいし、該当する役員にはなっていないくてもメンバーはだれでも会合に参加でき、意見も述べられるということにしたらどうか。来るものを拒まず、去るものを追わずという自由で柔軟なネットワーク型の運営のための工夫が望まれる。

徳島学遊塾運動のような行政が支援する、あるいは行政が仕掛ける市民参画、市民主体の生涯学習事業には、市民の独立型の生涯学習活動とは異なる独自の困難が見え隠れしている。「不幸の手紙状況」に陥る危険性が大きいのである。しかし、その状況からの脱却に向けた市民と行政の努力は、問題が精神構造にまで及ぶというその困難さゆえに、もし成功すれば、きっと市民参画や官民パートナーシップの実体をより確かなものにすることになるだろう。

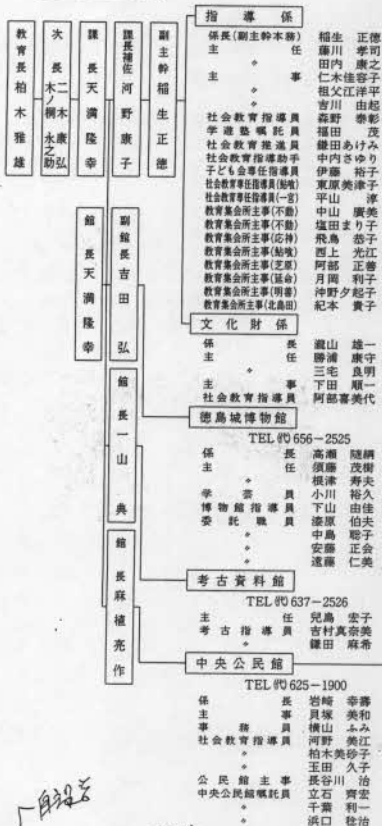
徳島市

Ⅲ 職 員 構 成

22/30 2022年
一部に手配
有科→分館

社 会 教 育 課
TEL 0921-5418

地区公民館館長・主事



館 長 主 事

(河)	北	野口 治實	秋山 敏子
(川)	内	島田 秀昭	吉田 壽之
(応)	神	庄野 和宏	相原 千恵
(渭)	東	湯浅 義博	鎌田 富則
(沖)	洲	佐藤 岩夫	鹿尾島千鶴
(佐)	古	上原 脩和	榎本 和明
(加)	茂	宮崎 信樹	太田恵美子
(加)	茂	名 一楽 努	大塚 裕美
(不)	動	岸岡 俊憲	佐々木 切
(国)	府	勝間 八郎	黒田加代子
(南)	井	上 鎌田 賀平	笹沼 純代
(北)	井	上 小川 正士	井上久美子
(内)	町	富永 幹夫	森本 和美
(新)	町	安田 正勝	吉田 元子
(東)	富	田 佐藤 義忠	村瀬 久夫
(西)	富	田 岩佐 重明	松村 昌平
(昭)	和	川田 仁志	鈴木小夜子
(津)	田	吉本 克己	富永 博
(八万・八万南)		露口 玲子	齋藤 三夫
(上 八 万)		武市昭三郎	岡 秀子
(一 宮)		東條 昇	川人美恵子
(入 田)		森 儀市	坂東 義仁
(勝 占 東 部)		遠淵 千秋	丸津 雄代
(勝 占 中 部)		大平 利夫	浜野健一郎
(方 上)		武市 良治	大下 菜二
(洪 野)		増田 保男	谷 尤夫
(丈 六)		山本 弘	笹倉 青江
(飯 谷)		北台 好美	七條隆三郎
(多 家 良)		堀井 昭克	王田 祥介
(八 多)		片山 寛昭	幸田 勝

1月22日

2022年 2月22日

徳島市 社会教育課

+ 分館 8 館長

山内部 20:00 ~ 見研

印

～ここは、誰もが自分になってゆくところ～

NPO（特定非営利活動）法人

自然スクールTOEC

Tokushima Outdoor activity Education Center

総合案内

トエック

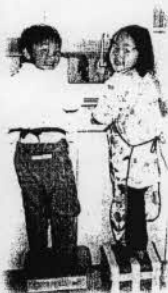
TOECは身近に触れることのできる自然や、人との関わりを通して
その人のありのままを尊重し、サポートしています。

あなたはあなたのままでいい

主体性の尊重

自然と人との自由なふれあいの中で、自分のやりたいことを大切にしています。指示や評価から解放されて、ひとりひとりが自分で判断し、さらに人と心を通わすことができる場所づくりを目指しています。

人は正直な気持ちで行動しながら、受容され共感されるとき、誰もが適応し成長することを実感していきます。そして、その人のやり方で問題を解決していく力を内在していると考えています。



自然からの学び

自然教育

土・風・火・水...様々な原体験を通して知恵や感性を育み、創造力をかきたてます。

徳島県阿南市にあるTOEC農園では、農作業体験はもちろんのこと、四季折々の生き物や草花とのふれあいが楽しめます。農園の野菜や果物を収穫して調理することもできます。

バックアップ会員募集中！

ご入会いただくとTOEC最新情報や、不定期に発行されるミニコミ誌「葉の花」をお届けいたします。
たくさんのご支援をお待ちしております！年会費：一口2000円

おとなだって、トエックにいつてみたい!

野外活動プログラム

サンゴの海が美しい沖縄県渡嘉敷島で悠久の時間を体感してみませんか?
おとなの沖縄無人島キャンプ(9月中旬、6泊7日)など。



カウンセリングプログラム

カウンセリングの勉強がしたい...などそれぞれの目的をもって、様々な人たちが集まります。ワークショップ形式による体験を通して、自分を解放してみよう。他者との安心できる場所づくりを心がけています。

春と秋(3泊4日)、お盆(8月14日～2泊3日)など。

*ご要望により、出向のご相談も承ります。(10名以上お集まりの場合)



個人カウンセリング

安心してご相談ください。秘密は厳守します。1回1時間、予約制。

トエックフリーキャンプセミナー

野外教育に興味がある人対象。実践を大切にしています。受講終了後は、(社)日本キャンプ協会のキャンプインストラクターの資格申請ができます。(10月上旬・2泊3日)

フリースクールセミナー

教育関係者や将来フリースクールに関わりたい人対象。幼児フリースクールのスタッフが世話人となって、互いに学びあうセミナーです。(9月中旬・3泊4日)

子育て支援事業

“お母さん、お父さんのこころのキャッチボールグループ”と称して、子育て上の相談・悩みなどについての講演会やグループワークを行う場所を設けています。(毎月第3土曜日)



▲無人島の夕暮れ

◆TOECこれまで:

1985年 自然スクールTOECを設立。野外プログラムやカウンセリングワークショップを中心とした活動をはじめ。

1990年 TOEC幼児フリースクール(幼稚園)開園。

1998年 TOEC自由な学校(小学校)開校。

2001年 NPO(特定非営利活動)

法人格取得。



自然スクールTOEC代表
いせ 定つらう
伊勢 達郎
徳島県阿南市出身
カウンセラー

(社)日本キャンプ協会
キャンプディレクター1級
四国大学福祉課程講師
徳島大学カウンセリング講座講師
徳島教育大学・徳島看護短大講師など
著書に
「ヒーリングレクリエーションのすすめ」

日本レクリエーション協会 1998
「のびやがに自分になる」

TOEC文庫 2000 ほか

詳しい資料をお送りします。お気軽にお問い合わせください。

NPO(特定非営利活動)法人

自然スクールTOEC



(水曜定休 受付時間10:00～19:00)

〒770-0855

徳島県徳島市新蔵町1-80 (徳島県青少年センター向かい)

電話:088-626-3436

ファックス:088-626-3533

E-mailアドレス:toec@asahi-net.email.ne.jp

URL: <http://www.ne.jp/asahi/outdoor/toec/>

TOEC幼児フリースクール・自由な学校

(土・日曜・祝祭日定休 お電話は15:00以降にお願いします)

〒774-0043

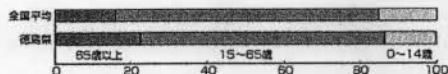
徳島県阿南市柳島町南高川原92 (TOEC農園内)

電話/ファックス:0884-23-4807

■ 徳島県(4市38町8村)

総面積(2000)	人口(2000)	可住地面積(2000)対総面積
4,145K平方メートル	823,997人	21.5%

▶ 年代別人口比率



▶ 消費者物価地域差指数(平成11年度)

(全国=100とする)

3位	愛媛県(96.8)
5位	徳島県(98.0)
12位	香川県(98.3)
19位	高知県(100.1)
45位	大阪府(107.1)
47位	東京都(110.8)

▶ 1人あたりの個人貯金残高(2000年3月現在)

1位	東京都(828.7万円)
2位	香川県(718.8万円)
3位	徳島県(697.1万円)
8位	大阪府(643.0万円)
21位	愛媛県(574.0万円)
22位	高知県(570.9万円)

▶ 1人あたりの労働時間と現金給与

(2000年平均)

徳島県	163.4時間	348.8千円
愛媛県	163.8時間	322.1千円
香川県	164.9時間	309.8千円
高知県	164.9時間	293.6千円
東京都	161.3時間	536.4千円
大阪府	162.2時間	448.6千円
全国	164.7時間	406.7千円

▶ 県民所得水準(平成10年度)

全国平均
310.4万円
徳島県
271.6万円

▶ 道路現況(平成11年度)

(単位:km)

一般国道	698.4
都道府県道	1,772.7
市町村道	11,802.3
合計	14,342.2
道路合計舗装率: 76.9 %	

▶ 廃棄物の処理状況(平成11年度)

ゴミ処理(単位:千t)	
総排出量: 322	総処理量: 294 (焼却処理79.7%, 埋立処理14.1%)
し尿処理(単位:千kl)	
総排出量: 335	収集量: 108